

2/2 大分県日田市と災害時相互応援協定を締結

大分県日田市との災害時相互応援協定調印式は、両市議立ち会いの下、市役所で行われました。この協定は、以前日田市と締結していた消防相互応援協定をより強化させたもので、消防に限らず、被災者の救難、救護その他保護の実施、必要物資の譲与、職員の派遣などを含んだ内容です。

協定締結により、日田市と隣接する山間部での土砂崩れなど、災害が起こった場合の迅速な対応が期待できます。



調印式を終え、固い握手を交わす福村市長（左）と原田啓介日田市長

2/9 公衆温泉入浴マナー体験学習会

公衆温泉利用者のマナーアップを図るため、七城温泉ドームで開催されました。第1回目となる今回は、七城小学校の1年生53人が参加。七城温泉ドームのスタッフから▼掛け湯をする▼お風呂場では走らない▼タオルを浴槽に入れない▼体を拭いてあがる▼歩行浴は中学生になってからなど、入浴マナーを教えてもらい、実践して学習しました。参加した子どもたちは、「マナーを守ってお風呂に入れます」と話し、入浴を楽しんでいました。



①入浴マナーを説明するスタッフ②歩行浴は深くて危ないことを学習しました③マナーを守って入浴する子どもたち

1/29

泗水小学校剣道部が団体戦優勝!

第13回帯山旗親善少年剣道練成大会は、熊本県民総合運動公園体育館で開催され、団体戦で泗水小学校剣道部が見事優勝しました。学年別個人勝ち抜き戦では、6年生の部で久川礼就くんが準優勝、5年の部では高橋奈菜子さんが準優勝と頑張りました。

監督、選手は以下のとおりです。（敬称略）

監督：脇田先生 **コーチ：**穂田先生、北田先生
選手 **先鋒：**工藤壮太 **次鋒：**高橋奈菜子 **中堅：**角田真凜 **副将：**米本涼 **大将：**久川礼就



優勝した泗水小学校剣道部の皆さん

2/4

新聞の面白さを再確認!
泗水図書館おはなし講座

泗水図書館で「おはなし講座」がありました。今回の講師は、泗水町出身で熊本日日新聞社論説委員の荒木正博さん。「新聞のおもしろい読み方」と題した講演では、記事の書き方を説明したり、記事の見出しを参加者と一緒に考えたりするなど、新聞をより楽しむための話がたくさんありました。そのほか、取材での裏話やエピソードなど笑いを交えた話もあり、参加者は普段読んでいる新聞の新たな一面を知ることができました。



新聞の面白さを伝える講師の荒木さん

1/24

平成23年度
熊本県農業コンクール大会表彰

平成23年度熊本県農業コンクール大会入賞者の表彰式が熊本市内のホテルで行われました。本市からは新人王部門で城憲治さんが優良賞を受賞。「七城メロン」、「七城のこめ」などの生産活動における地域農業の活性化や社会活動における地域社会への貢献を高く評価されました。また、優良賞受賞者の中から新たに取り組みに挑戦し、今後の飛躍が期待できる人に授与される特別賞を併せて受賞しました。今後ますますの活躍が期待されます。



受賞した城さん。おめでとうございます！

1/29

「初春のつどい」を開催

菊池市文化会館小ホールで市民約100人が参加して開催されました。このつどいは、女性が連携し親睦を深め、まちづくりにつなげていこうと、菊池市女性の会（中原恵会長）が毎年開催しています。

今回は、山鹿市在住の一ノ瀬たけしさんのコンサートがありました。一ノ瀬さんは、16年前に心臓発作で倒れ高次脳機能障害になりました。しかし、障がいに立ち向かい、大好きな歌を歌うことでも驚くほど回復されています。自立と社会復帰に向けて家族で支え合う姿に、会場からは大きな激励の拍手と花束が贈られました。そのほか、恒例のチャリティーモンテ、お楽しみ抽選会などがありました。



会場に歌声を響かせる一ノ瀬さん

1/22

水迫区新春どんどや

水迫区新春どんどやは、水源北小学校跡地で開催されました。このイベントは、水迫区長会（川上憲誠会長）や菊池少年自然の家が開催し、今回が第1回目。約10mのやぐらを組み、願い事や無病息災を願って火が付けられました。会場ではグラウンドゴルフやペタンク大会も行われ、昼にはみんなでいのしし鍋を堪能。地域の子どもやお年寄りが参加し、楽しいひと時を過ごしました。川上会長は、「水迫地区の冬の祭りとして続けたい」と話しました。

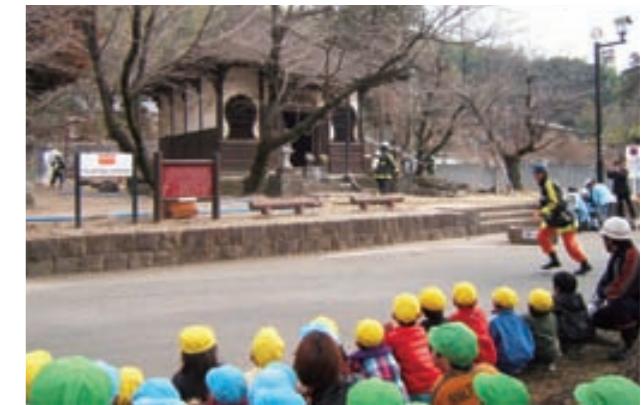


①勢いよく煙を上げるどんどや／②グラウンドゴルフで遊ぶ子どもたち／③ペタンク大会も盛り上がりました

1/27

文化財防火訓練

文化財防火デーに合わせ、熊耳山正觀寺（東正觀寺）の地蔵堂から出火したという想定で、菊池広域連合北消防署の指導の下、文化財防火訓練が行われました。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂が炎上したことを教訓として制定されたものです。地域住民、消防団、保育園児など約80人が見守るなか、関係者による通報、初期消火、文化財の持ち出し訓練、消防署によるけが人搬送と放水消火活動訓練が行われました。



消防署による放水消火活動、けが人搬送訓練を見守る菊池ひかり保育園の園児たち